

3 歴史と伝統のある地域社会の中で 快適な暮らしを創造する

(1) 歴史と伝統を継承し、新たな文化を創造する

■ 現状と課題

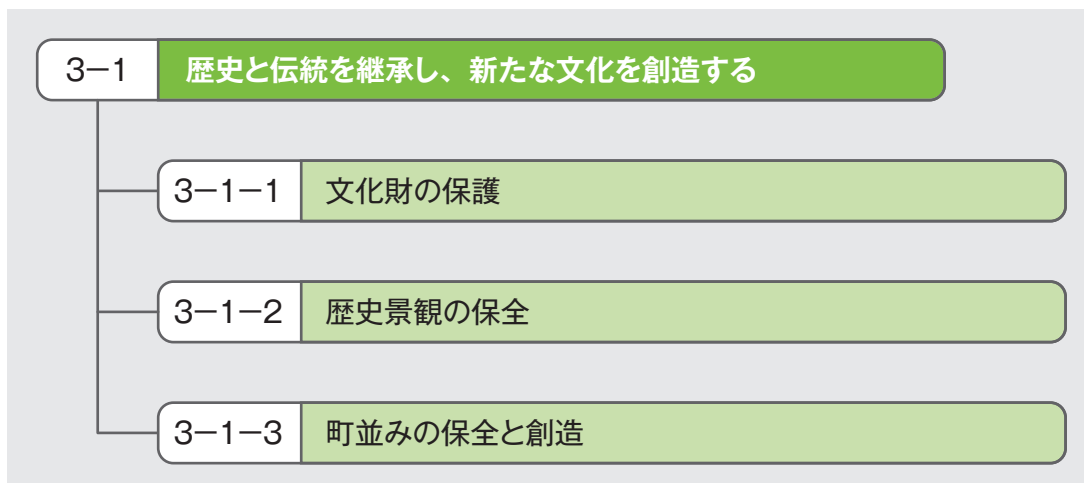
本市の歴史は、古くは旧石器時代に始まりますが、弥生・古墳時代を経て奈良時代には国としての形が整います。また、中世・戦国時代には、様々な有力豪族の支配するところとなり、城下町村上の基礎が築かれました。江戸時代に入ると頻繁に村上城主が変わりますが、この村上城を中心に、武家・町人・農民文化が築かれてきました。本市には、このような古い歴史と文化が保存、継承され、歴史的な遺産や伝統芸能などの貴重な文化財が数多く存在します。村上城跡、平林城跡等の城跡は、地域の代表的な歴史遺産であるとともに、市民の憩いの場としても、私たちにうるおいと安らぎを与えてくれます。

また、村上城下の武家住宅や町屋、旧港町の海老江、塩谷、旧宿場町の小俣、猿沢など、歴史的な景観が残され、これらを自然環境や生活環境とともに保全する必要があります。



さらに、文化財を調査・保存するための施設の確保と展示公開施設の充実、資料の活用、伝統芸能の後継者育成など、将来にわたり継続的に推進していく必要があります。このような活動や取り組みとともに、住みよい環境づくりの実現のため、計画的な施策を展開することが望まれます。

■ 施策の体系（個別目標と施策方針）



■ 施策の内容

3-1-1 文化財の保護

- 文化財保護法及び新潟県文化財保護条例・村上市文化財保護条例に基づき、指定文化財を適正に保護します。
- 本市のランドマークである史跡村上城跡・平林城跡の保存・整備を促進します。
- 祭事等の伝統行事の継承と観光への活用を支援します。
- 埋蔵文化財（遺跡）は、適正に保存もしくは記録保存された後、出土品を適切に保管するとともに、展示による一般公開や講座の開催等を通じて、地域住民の郷土史理解と愛郷心の醸成を図ります。

3-1-2 歴史景観の保全

- 史跡村上城跡・平林城跡とその周辺の自然景観との調和に配慮し、歴史景観の保全を推進します。
- 指定文化財の寺社及び武家住宅等の保存・修理に対する支援を行い、適切な保全を図ります。

3-1-3 町並みの保全と創造

- 景観形成地区においては、歴史的町並みの風景を維持・継承しながら、良好な住環境の形成に努めます。

■ 環境指標及び数値目標

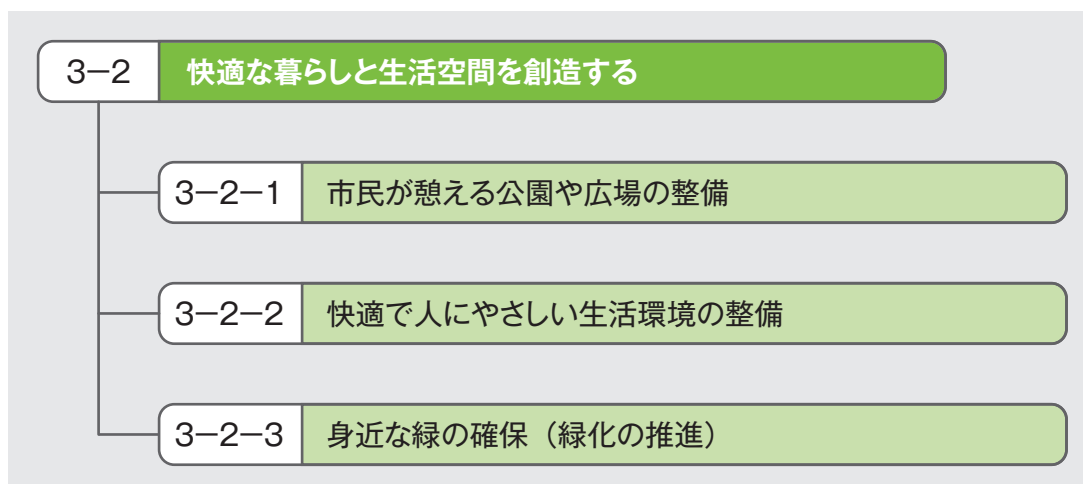
環境指標	現況値	目標値
町並みの美しさに関する満足度 (アンケート調査)	50.2% (平成 22 年度)	73.8% (平成 32 年度)

(2) 快適な暮らしと生活空間を創造する

■ 現状と課題

本市では、学校や医院・病院その他の福祉施設が整備され、住みよい環境づくりが進められていますが、これからは公園や広場の整備も含め、さらに快適な生活空間が確保されるような施設整備が望まれます。また、市街地においては、美しくうるおいのある生活環境づくりのため、身近な緑を含めた緑化を推進する必要があります。

■ 施策の体系（個別目標と施策方針）



■ 施策の内容

3-2-1 市民が憩える公園や広場の整備

- 都市公園、児童公園、中州公園等を清潔で安全・快適な状態で維持できるよう、適切な管理を行います。

3-2-2 快適で人にやさしい生活環境の整備

- 公共施設のバリアフリー化を推進します。
- 道路整備にあたっては、歩道上の通行支障物の撤去や移動、路肩の拡幅などを進め、安全・安心で人に優しい歩行空間を確保します。

3-2-3 身近な緑の確保（緑化の推進）

- アドプト制度の活用等、地域住民を主体とした身近な公園の管理について検討を行います。
- 花壇やプランターを利用した身近な緑化を推進します。
- 並木の植栽や壁面緑化、緑のカーテンなど、豊かな自然環境を保全・育成・活用した心地よい生活空間の創出を推進します。

■ 環境指標及び数値目標

環境指標	現況値	目標値
市民一人あたりの都市公園面積	21.85 m ² （平成 22 年度）	24.37 m ² （平成 32 年度）